

「つながる 広がる ちばの食育 情報交換会2016」

- 千葉県では、第2次千葉県食育推進計画に基づき、『「ちばの恵み」を取り入れたバランスのよい食生活の実践による生涯健康で心豊かな人づくり』を基本目標として、「ちばの恵みでまんてん笑顔」をキャッチフレーズに、「グー・パー食生活」の普及啓発など、食育の推進に取り組んでいます。
- 食育の推進には、ボランティアや企業など幅広い関係者の参画が必要なことから、お互いの一層の連携強化と活動促進を図るため、情報交換会を開催しました。「地域に根ざした食育活動」をテーマに、事例発表・パネルディスカッションを行い、177名の参加がありました。



【取組の内容】

- ちば食育ボランティア 研修報告
- 事例発表
 - ・わんぱくクッキング
「料理を通じて親子が一緒に学ぶ食育教室」(匝瑳市)
 - ・地域とともに取り組む学校給食を目指して(南房総市)
 - ・発酵の里の食育「大豆から育てる味噌仕込み体験授業」
(有)こうざき自然塾・(株)寺田本家)
- パネルディスカッション
テーマ「つながる広がる地域に根ざした食育活動」
- ◆コーディネーター 千葉敬愛短期大学学長
- ◆パネリスト
匝瑳市 健康管理課
南房総市 和田学校給食センター
有限会社 こうざき自然塾
生活協同組合 コープみらい
キッコーマン もの知りしょうゆ館



詳細は、<http://www.pref.chiba.lg.jp/annou/shokuiku/h27event.html>

【取組の成果】

○保健推進員や栄養教諭による活動や、町ぐるみで「発酵」をテーマとした活動に対して、参加者からは「地域の特色をよく生かしている」、「和食の良さを上手に伝えている」等の意見が多くありました。

パネルディスカッションや研修報告を通して、地域においてボランティアや企業・行政など、様々な分野との連携が地域に根差した食育活動につながるとの理解が深まりました。

Q あなたは普段の食生活において、主食、主菜、副菜を基本にバランスの良い食事を実践していますか？

(平成27年度 県内アンケート調査 397名回答)

